



## 100円のチョコレート

私が3学年の担任をしていたとき、社会科の最初の単元は流通の学習で、タイトルは「ピーマンの旅」でした。その最初の時間のことです。これから学習する内容について大まかに説明した後、ピーマンが私たちの手元に届くまでの流れやその間に関わる人々について詳しく調べるために、スーパーマーケット見学等の予定も含め、計画を立てました。その時間の最後に、一人の児童から、こんな発言がありました。「オレ、ピーマン嫌い!」「社会って何? 何で勉強するの?」

確かに、2年生から3年生になったばかりの児童にとって、「社会」という教科は馴染みがなく、そんな中でただ漠然と授業を始めてしまったことを反省させられました。私は一晩考えました。

次の日、私は1枚の板チョコ(本物)を持って学校に行きました。そして、社会の2時間目の授業を始めました。ピーマンの話ではなく、1枚の板チョコを見せて、次のように問いかけました。

「このチョコレートは100円です。高いかな?安いかな?」

子供たちは本物のチョコレートを見て大はしゃぎです。

「たかーい!100円も持ってない!!」「オレは1000円持ってる!やすーい!!」

「くいてえー!!」.....

賑やかな様子を暫く黙って見ていると、子供たちはだんだん静まり、しーんとなりました。あまり賑やかにしたので、私が怒って黙っていると思ったようです。そこで私はにこにこしながらこう話しました。

「みんなに100円あげるから、チョコレートを作ってみて。」

教室はますます静まりかえりました。いよいよ私が本気で怒ったと思ったのでしょうか。その後、怒っていないことを伝えてから、次のように話しました。

チョコレートを作るためには、まず材料が必要だよ。カカオや砂糖など.....暖かい国に畑を作るために土地を買わなくちゃ.....。飛行機か船に乗って行かなければならないね.....。収穫までは随分かかりそうだし、そこで働く人も雇わなければならないな.....。チョコレートを作るための工場も必要だね。工場を建てて、また人を雇って.....。機械も買わないとね.....。自分で食べるだけなら包み紙はいらないけど.....。

それが100円で食べられるんだよね。

このような人々のつながりや支え合う仕組みを「社会」って言うんだよ。

その後の授業では、「ピーマンの旅」について真剣に調べようとする子供たちの姿がありました。

このことをきっかけに、その後、社会科に限らず、担任になった学級で初めて授業をする際には、各教科毎に「その教科はどのような内容か」「なぜ学ぶのか」について、1時間かけて授業をするようになりました。(※裏面:「各教科で何を学ぶのか」参照)

教員は、学習内容の理解と定着を図るために、より効果的で効率的な指導を目指し、毎時間の授業の準備や指導法の工夫に日々取り組んでいます。さらに、学問としての系統性や関連する分野など、「小学校の授業」ということに留まらないその教科の本質や魅力に触れることも取り入れながら、児童の知的好奇心を刺激し、児童の学ぼうとする意欲を引き出すことにも努めています。

ご家庭でも、お子さんが学習について感じる疑問を口にした際には、共感を持って受け止めていただき、納得を促しながら背中を押していただきたいと思います。

..... 切り取り線 .....

子供たちのための、意見・提案・要望・校長に知らせたいこと など

**2022年9月9日 ( )年 ( )組 児童氏名**

※メールでも随時受け付けております。kosaki-k@sendai-c.ed.jp (校長直通)

## ※各教科で何を学ぶのか

小学校の学習は、まだ入口の段階ではありますが、各教科それぞれに「広く・深く・強弱の差なく」取り組むことが、子供たちの将来の選択の自由を保証するために大切だと考えています。  
(以下は、私が心がけてきた私見です。)

- \* **国語**：人は母国で考える。以前外国人タレントがクイズ番組で答えを考えると、英語でつぶやいていた。国語力は思考力に直結。読解を通して「考える」力を伸ばす。また、「読む・発表する」ことを通して、自己表現の基礎を身に付ける。
- \* **書写**：文字の成り立ちは、長い歴史を経たもの。歴史的遺産。その歴史を学び、正しく伝える。
- \* **作文**：自己表現法の1つで、話すことと並ぶ基本。「自由に書け」と言われても書けるものではない。内容は個人の自由であるが、形式は徹底的に指導すべき。児童は正しい形式を学んでこそ、その中で安心して自己表現できる。自己表現の練習であって、表現の自由を実践する場ではない。
- \* **算数**：「点には面積はない」「線に幅はない」・書けない・・・形而上的な学問の入口を学ぶ。
- \* **理科**：「なぜ？」に対する答えを探す。実験や調査等のデータを基にした科学的・論理的検証。  
(風神・雷神・山の神等【畏敬的なもの】や、川はなぜ流れるの？海のお母さんが待っているから等【文学的なもの】等との対比・それぞれに別の意義がある)
- \* **社会**：100円のチョコレートは高いか？100円でチョコレートを作れるか？相互の関わりや繋がりによって人々が支えあう仕組み（社会）について学ぶ。  
※歴史については別：「温故知新」歴史とは昔のこと、古いことの勉強？いや、それは、未来のために・・・。
- \* **音楽**：まず、「音楽ぎらい」と思っている子どもに語りかけよう。「音楽無しじゃ、つまらないよね。アニメもニュースも・・・」もしかして嫌いなのは「音楽」じゃなくて「音楽の授業」？・・・本当は音楽が好き。そこから始めよう。「音楽」を学ぼう。まずは「鑑賞！」年間継続的に。歌う喜び・演奏する楽しさ・・・しかし、目的も必要。「発表」（録音等も）
- \* **図工**：自己表現手法の1つ。絵画については特に、膨大な歴史的な手法など、指導が必要。ただ「よく見て描け」ではだめ。目は入口。「脳で見ている」。見方・描き方を教えなければならない。(具象のデッサンにおける物の見方(=考え方)の例や二次元の平面上に三次元を表現する遠近法など)作文同様、自己表現の練習であって、表現の自由を実践する場ではない。工作など、様々な表現手法を紹介しながら、愛着の持てる作品製作をめざす。
- \* **体育**：教師は自分も実技面でできるようになる努力が必要だが限界がある。教師は指導力・指導法を磨き、児童は教師との信頼関係に基づく素直で前向きな取組で伸びる。  
【6年生覚醒の逸話】跳び箱を跳ぼうとしない児童「先生、やってみろ！」・・・教師が模範演技を見せることも必要だが、教師ができて児童は変わらない。児童を変える指導のプロでなければならない。教師の指導によってできるようになることで、この児童は変わっていった。
- \* **家庭科**：生活の基本である「家庭」において日常経験する衣食住の生活について基礎的な理解を持たせ、技能を習得させ、健康で幸福な家庭生活をめざすために必要な知識技能を学ぶ。男女の固定的役割は無い。
- \* **道徳**：説教でも宗教でもない。人間にとって大切な心情や行動について学ぶが、自分を直視することは困難なため、教材の登場人物などを通して間接的に考え、その後の自分の行動に生かそうとする心情を育てる。成果はすぐ出るかもしれないし何年も先になるかも知れない。
- \* **外国語**：英語に対する嫌悪感・苦手意識を持たないために、ALTによるネイティブな発音にも触れながら、コミュニケーション・ツールとしての英語感覚を身に付け、中学校からの本格的な英語の学習に備える。
- \* **学級活動**：民主主義の基本を実践する。担任の責任下での、社会の縮図としての模擬体験。